

深川飯の季節到来

食文化史研究家 飯野 亮一

大正十五年四月に出版された『深川区史』「下巻」には「永代島の名物は牡蛎で、その貝殻が蛎灰に焼かれたほど深川は貝類に富み、蛤町（門前仲町）辺からは朝な夕なに蛤、蛎、浅蛸などを振り売りに出た」とある。

深川は貝類の名産地だった。このあたりでは採りたての貝類を使った料理が古くから食べられてきたと思えるが、その一つに深川飯がある。

深川飯の名は松原岩五郎の『最暗黒の東京』（明治二十六年）に出てくるのが早く、「深川飯一これにはバカのむきみに葱を刻み入れて熟煮し、客来れば白飯を井に盛りてその上へかけて出す即席料理なり」とあって、深川飯を出すような店が描かれている。深川飯は庶民的な食べ物で、ここではバカ（青柳）の剥き身とあるが、アサリの剥き身のほうが一般的だったようで、こうした貝類と葱の味噌汁を上からかけたどんぶり飯が深川飯とよばれた。

『聞き書東京の食事』には、明治二十八年生まれの深川左官職人から聞いた、大正末期から昭和初期の深川での食の歳時記が載っているが、「あさりやばか貝のむき身に、ねぎのきざみを入れて味噌で煮た汁を、ごはんにかけて食べる深川飯は、冬から春にかけての手軽なごはんである」と語っている。

昭和十三年に出版された「主婦之友十月号付録」の『和洋一菜料理の作り方三百種』には、深川飯の作り方が載っていて、

「深川井 井物の御飯は、お汁が浸みてもぐちやぐちやとならぬやう、少し硬目に炊いておくことです。御飯を蒸らしぬる間に、浅蛸の剥身と葱をぶつ切して、お酒を煮立たせた鍋に入れ、ざつと混ぜてからお湯をひたひたに注いで、そこへ粒味噌と砂糖を入れて煮立てます。しんから底冷えのするやうな晩は、井を温めて、炊き立ての御飯をこんもりと盛つた上に、煮立ての具をかけ、七味番椒か揉み海苔でも添へますと、お客様におすゝめしても、山海の珍味に優る心尽しになりませう」とある。

深川飯は簡単につくれて美味しい。アサリの旬は産地によって異なるが、関東周辺では産卵期を控えた三、四月ごろが最も身が太ってうま味を増すという。これから旬を迎えるアサリを使った深川飯はいかがでしょうか。



『最暗黒の東京』に描かれた食べ物屋 →

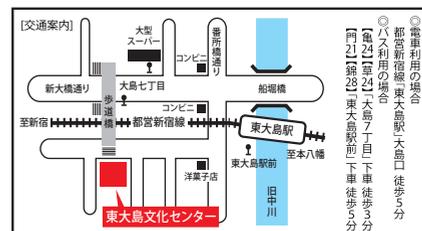


公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
東大島文化センター

TEL. 03-3681-6331
FAX. 03-3636-5825

〒136-0072 江東区大島 8-33-9

休館日：第1・3月曜日、ただし国民の祝日にあたる場合を除く
年末年始休館：12/29～1/3



東大島文化センター ニュース

- index
- 1 スプリングサンデー・成果発表会 開催!
 - 2 リバーツアー/東大島亭/東大島おひなさま展
 - 3 ぶらり小名木川/「小名木川リバーウォーク」ボランティアガイド講座
 - 4 コラム「江戸時代の食と人々」



新しいことにチャレンジしてみたくなる春。
東大島文化センターで活動しているグループの体験教室を開催します。
ぜひご参加ください!

【体験教室】

置くだけでオシャレなコケのテラリウム・和太鼓・ジャバラ絵本・水彩画など体験教室もたくさん!



【その他お楽しみ】



ダンボール迷路であそぼう!
※身長 130 cm以下のお子さま対象

【軽食・パン販売】

・大島東町会・メイカセブン・のびのび作業所

ふうせんをプレゼントします!
※先着順・なくなり次第終了

2月23日(土) 24日(日) 成果発表会

東大島文化センターで活動しているグループの日頃の練習の成果を披露します。
どうぞお楽しみに! 入場無料、直接お越しください。

2/23(土)

- 13:00 ~ ブリリアントスターズ東京(ゴスペル)
- 13:20 ~ こどものためのクラシックバレエ ABCクラス
- 13:50 ~ みのり会(木のオカリナ)
- 14:15 ~ フラメンコサークル・アレグリアス
- 14:35 ~ 関吟東京詩吟の会
- 14:55 ~ ダンス・アソシエーション COM
- 15:20 ~ 口笛サークル「砂町パンビ」
- 15:40 ~ アイニーベリーダンス
- 16:00 ~ TAIKO-LAB 江東
- 16:20 ~ こどものためのクラシックバレエ ボワントクラス

2/24(日)

- 13:00 ~ Pの会(女声アンサンブル)
- 13:20 ~ 童謡・唱歌をうたう会
- 13:40 ~ プアナニ高橋ハワイアン・フラ東大島
- 14:05 ~ スタジオ Kalama Lilia&Kalama(ウクレレ・フラ)
- 14:25 ~ 清水順子ヴォイス・トレーニング音楽教室(コーラス)
- 14:45 ~ 東大島女声コーラス(夜間・午前クラス)
- 15:20 ~ トモ・ダンスサークル(社交ダンス)
- 15:40 ~ Chor Merrily(コーラス)
- 16:00 ~ 民謡三浦流きずな会
- 16:20 ~ 東大島ウクレレ教室

【お申込み・お問合せ】東大島文化センター 03(3681)6331

東大島文化センター 聞いて見て知る！リバーツアー

芭蕉の旅立ちの地を 屋形船で巡る

3/17日

1便 9時～12時
2便 13時～16時

【航路】 芭蕉記念館（集合・見学）→徒歩にて芭蕉庵史跡展望庭園（見学）→高橋乗船場（乗船）→隅田川→千住大橋周辺→高橋乗船場（下船後解散）

今から約 300 年以上前の元禄 2 年 3 月、松尾芭蕉は江戸の深川から船で千住に渡り、「おくのほそ道」の旅に出ました。今回は、中川船番所資料館・久染健夫氏と一緒に、芭蕉記念館を見学した後、屋形船で隅田川を水上さんぽしながら芭蕉の軌跡をたどります。

場所 集合：芭蕉記念館（江東区常盤 1-6-3） 解散：高橋乗船場（江東区高橋 3 番地先）

対象 小学生以上 各便 50 名

料金 大人 1,950 円 小・中学生 1,530 円

ガイド 久染健夫（中川船番所資料館）、小名木川リバーガイド認定者

先着順で受付中



ネタおろし、あります。

第4回東大島亭 三遊亭 わん丈 独演会

【主催】 笑いのある暮らし

2019年
3/9
(土)
開催

チケット発売中

13:30
開場

14:00
開演

会場 江東区東大島文化センター
第1和室 ※全席椅子席

一般 1,500 円 友の会 1,300 円
全席自由 6 歳以上入場可 当日各 300 円増

TEL. 03-3681-6331
(9:00～21:00)

第12回 東大島おひなさま展

「春を寿ぐちりめん細工」

江東区在住のちりめん細工講師、三好裕子氏のグループ「江戸の針」による、可愛らしい作品の数々を紹介します。

日時：2月17日（日）～3月5日（火）9:00～18:00
※2月18日（月）、3月4日（月）は休館日

場所：東大島文化センター 1階 展示ロビー

料金：入場無料

問合せ：東大島文化センター 03-3681-6331

スプリングサンデー【2/24（日）】で
体験教室も行います。（要事前申込、先着順）

「ちりめん細工 傘飾りをつくろう」

時間：①10:00～12:30
②12:30～15:00

対象：大人（女性限定）

定員：各 10 名

費用：各 3,000 円



小名木川リバーガイド倶楽部 会員 松井 康江

江戸っ子

東京は、アジアで初めて開かれた第十八回オリンピック大会（1964）により、名実共に世界の東京となりました。

明治 5 年に新橋～横浜間（28.8 キロ）に鉄道が敷かれ、昭和 2 年に浅草～上野間に地下鉄が開通、その後昭和 39 年東海道新幹線の完成と目覚ましい発展を遂げましたが、古き良き物もたくさん残されておりまして、ほどよく調和された、なんとも魅力的な町でもあります。

江戸と呼ばれたこの町に、小名木川はたくさん
の貢献をしてきました。今も変わらず私達に恩恵
を与え続けてくれています。

川面に吹く風は心地よく、自然を感じる都会の
オアシスです。道行く人達の言葉は国際色豊か
になり、時代の流れを感じます。

ところで、現在の東京に生粋の江戸っ子と呼ば
れる人達はどの位いるのでしょうか。

江戸っ子とは、親子三代にわたり江戸に住んで
いる人達のことをいいます。現代では東京とい
うことになりましたが、当時はその範囲はもっと厳密
で、日本橋界隈から神田上野広小路のあたりまで
に生まれ育った人達をそう呼んでいたようです。

「本郷もかねやすまでは江戸のうち」

本郷三丁目に、かねやすさんという江戸時代か
ら続く老舗の小間物屋さんがありますが、にぎや

かな江戸の町はこの辺りまでだったようです。

そして江戸っ子は「いき・すい」を重んじて、
喧嘩早い情にもろく、ヤセ我慢でカッコイイの
が売りもので、男はイナセ、女はオキャンと言
われていました。

「江戸っ子は宵越しの銭は持たねえ」という江
戸っ子の気風のよさを一言で言い表した言葉も、
実際は気風のせいばかりではなく生活もなかなか
厳しかったので、宵越しの銭は持てなかったの
だといわれています。

また、江戸っ子の話し方を区別する方法の一
つに、シとヒの違いがつかない事がよく言われ
ますが、実際今でも、渋谷と日比谷の発音が
はっきり区別できなければ江戸っ子合格とも
言われています。（てやんでべらぼうめが）
いわゆるべらんめ調という事になるよう
です。

下町で根っから江戸っ子風のイキな人達
を見かけますと、とても嬉しくなります。

2020 年、再びやってくる東京オリンピック・
パラリンピック大会に向けて今着々と準備が
進められており、この町はまた大きく変わ
ろうとしています。

東京も江戸っ子も、ますます元気で活
気があって欲しいと願っています。

次世代育成・交流事業「小名木川リバーウォーク」 ボランティアガイド講座 受講生募集

3/10(日)～募集開始

東大島文化センターでは、10 年以上にわたり近隣の小学 3・4 年生を対象に、小名木川及び旧中川の歴史や自然を学ぶ次世代育成・交流事業「小名木川リバーウォーク」を行っています。そのリバーウォークで小学生に地域の史跡・歴史を紹介するボランティアガイドとして活動してみませんか。この講座では、主に大島地域の歴史などについての学習、解説スキル向上を目的とした講義や現ガイドから学ぶ実践講座を行い、その後、秋にはガイドとしてのデビューを目指します。



【日時】 5/8,15,22,29(水) 全 4 回 14:00～15:30

【場所】 東大島文化センターほか

【対象】 20 名※平日午前中に活動できる方

【料金】 1,000 円（全 4 回分）

【講師】 久染健夫（中川船番所資料館）、小名木川
リバーガイド倶楽部（おりべ）ほか

【申込】 3/10(日) から電話・窓口にて先着順受付